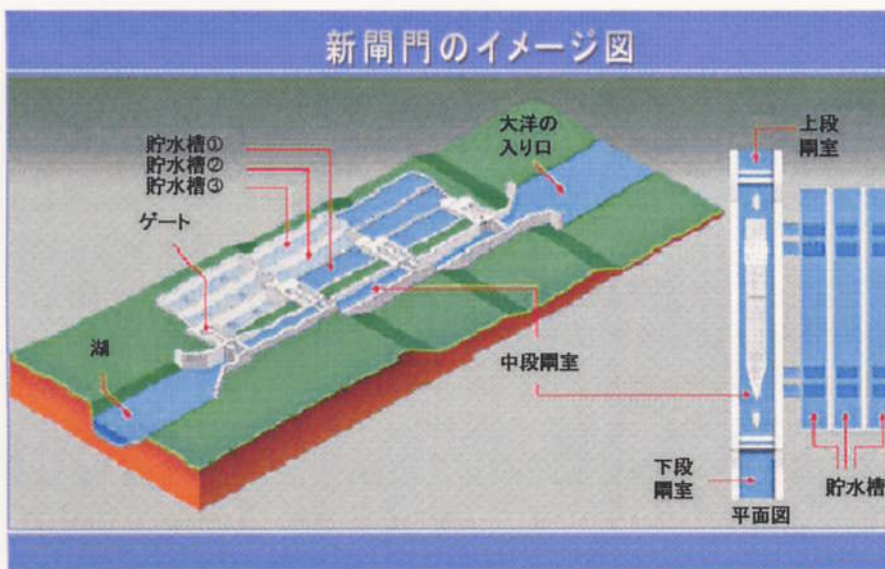


# 新パナマ運河 より良い航路

## パナマ運河拡張—総括

### どのような計画か

拡張計画は、パナマ運河建設以来最大のプロジェクトとなる。パナマ運河拡張により運航能力は倍加し、より多くの通航量受け入れを可能とする。計画は1対のロック(閘門)システムを設置して、新しいレーン(水路)を運河に沿って建造することである。太平洋岸と大西洋岸の運河への入り口にある海峡は拡幅され、水深も深くなる。ガツン湖の海峡も同様である。1つの閘門設備は既存のミラフローレス閘門の南西部横の太平洋側に、そして、もうひとつの閘門設備はガツン閘門の東に設置される。



プロジェクトによれば建設完了は2014年と予定されている。パナマ運河庁(ACP)は建設終了までの間も通航容量を拡大するため、万全の体制をとっている。(現在の運河稼働率は93%)

ACPは拡張により現在の業務が妨害されることは無いと判断している。建設中、現在の水路が閉鎖されることは無い。又、全ての建設場所は既存の海峡や業務地域の外側に有るため、ACPは運行の遅れは生じないと確信している。

### 経済的価値と総合価値

拡張計画の目的は、今後20年間に予測される需要の増加に対応することである。拡張により、運河の通航容量は6億パナマ運河トン以上増大する。ACPが海運業界のトップ企業各社と行った業界分析によれば、拡張により、より多くの運輸トン数の通行を可能となることで需要に対応し、運河とそのユーザーの双方にとって利益をもたらす。

### 資金調達

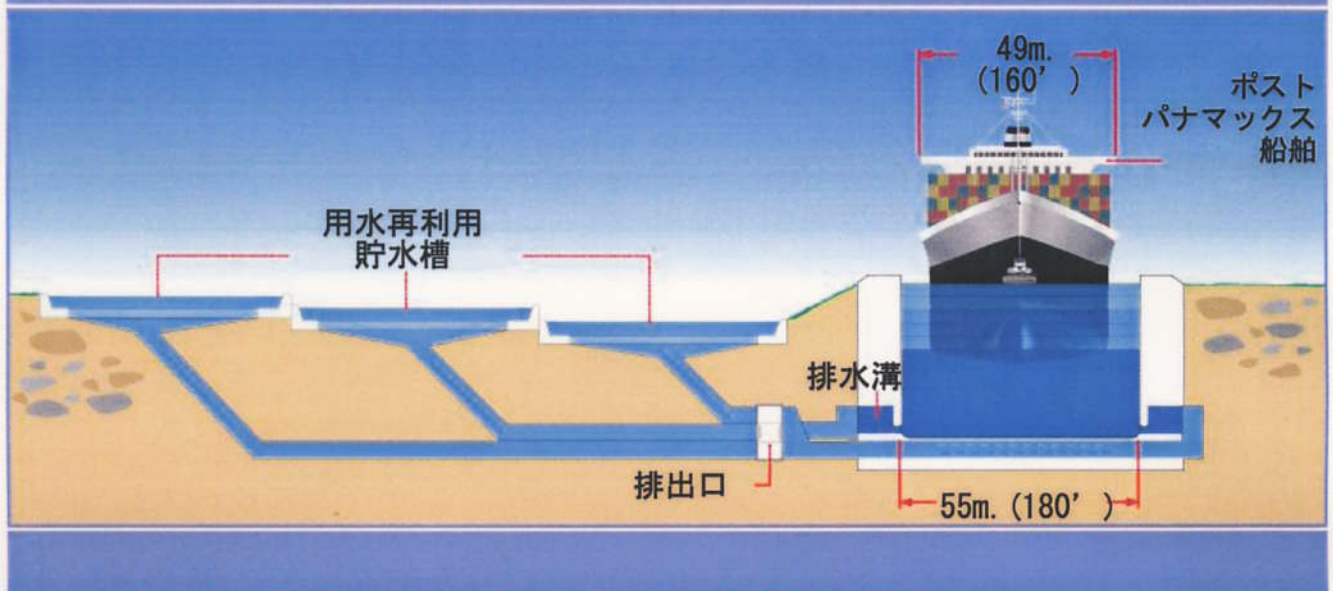
計画の予想コストは52億5000万米ドルであり、全て通航料金システムの段階的な値上げによる運河ユーザーの支払いで充当される。

## 新パナマ運河 より良い航路

### 環境基準と最善の管理

ACPの全ての建設計画は、世界的な環境基準や原則に基づき、国連のグローバル・コンパクトの加盟国として実施される。

### 新閘門設備の断面図



持続的な発展や最善の環境管理を維持しつつ、運河の拡張には、水資源を保護するため、独自の用水再利用貯水槽を利用する。この技術により、ダム建設や洪水、運河の沿岸に住む人々の立ち退きを回避することが出来る。

### 決定へのプロセス

ACP理事会はパナマ共和国大統領及び閣議に対して運河拡張案を提出した。閣議で承認されれば、本件は国会で、審議、批准されるよう手続きが行われる。その後、国会は、パナマ国民による「運河拡張に関する国民投票実施のための法律」を施行することとなる。